


 あた ころ
 温かい心

校長 長島 クミ子

3学期が始まり、ひと月がたちました。大寒をむかえて、冷たい北風と寒波の日々でしたが、もうすぐ立春をむかえます。暦の上では春をむかえる日ということです。水仙の花が咲き、梅のつぼみがふくらみ、日の入りが少しずつ遅くなり、春が近づいてきていると感じる今日この頃です。

そこで、2月号は「北風と太陽」のお話をしたいと思います。みなさんは知っていますか。



北風と太陽で、どちらの力が一番強いかを競走しようということになり、ちょうど通りかかった旅人のコートをどちらが早く脱がせることができるかを競ったお話です。北風は強く冷たい風を吹いてコートを脱がそうとします。しかし旅人は寒さのあまりコートをさらにしっかりとしめて脱げないようにしました。太陽はどうしたかという旅人を暖かく照らし続けました。すると旅人は暖かくなってきて、着ていたコートを脱いだのです。結果は太陽の勝ちということになりました。このお話がみなさんに伝えたいことは何だと思えますか。

北風のように力まかせに相手に何かをさせようとする、相手は動かなくなるということです。反対に太陽のように相手の気持ちを考えて暖かく照らし続けることで、相手は動いてくれるということです。このお話は、人と人とのかわりに通じると思えます。相手に厳しく接するよりも相手の気持ちを考え、温かい心で接することは、より人と人とのつながりをよくすることになります。

今のクラスの仲間との生活も残り2カ月となりました。みなさんのクラスはどうですか。春をむかえる3学期は進級・進学にむけて、1年間のまとめをする時期でもあります。温かい心でみなさんと接しながら、各クラスの学級目標と大戸小の学校像「笑顔あふれる大戸小」の達成をめざして、日々、力を発揮していきましょう。最後に、「1月は行く」「2月は逃げる」「3月は去る」という言葉を耳にします。1月から3月は、年度末にむけて1年間のまとめなどを行うために、月日が足早に過ぎてしまうことを例えた言葉です。あっという間に3学期が終わり、別れと出会いの季節となります。一期一会、一日一日を大切に過ごしていきましょう。

保護者の皆様、地域の皆様、学校評価のアンケートへのご協力をいただき、ありがとうございました。大変遅くなりましたが、結果をまとめることができましたので、後日、ホームページへ掲載をさせていただきます。皆様からのアンケート結果をもとに、次年度の大戸小の教育活動に活かさせていただきます。令和4年もご理解とご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。